

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

プレス工業株式会社 尾道工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市高須町大山田21050番地1

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業(細分類番号:3113)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から令和2年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
		上段：見込量 (b)	下段：削減率 (c)	平成 年度		平成 年度		平成 年度		平成 年度	
エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量											
実績に対する自己評価											

※ 削減率 (c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 付加価値(百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))								
		上段：目標 (b)	下段：削減率 (c)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
エネルギー起源CO ₂	10,224	9,723	-4.9	9,975	2.4	11,826	-15.7	11,204	-9.6	10,182	0.4	100.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計	10,224	9,723	-4.9	9,975	2.4	11,826	-15.7	11,204	-9.6	10,182	0.4	100.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.6309 (3,357KL)	0.6000	-4.9	0.6659	-5.6	0.6343	-0.5	0.5135	18.6	0.5615	11.0	100.0
実績に対する自己評価	目標値達成も、前年度比で悪化、台風影響による客先納入指示が安定せず、生産ロス発生。											

※ 削減率 (c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電力量削減	59.3ton-CO2/年	老朽照明のLED化と照明の統廃合。
2	電力量削減	38.9ton-CO2/年	冷却水ポンプ&電動機小型化・高効率化。
3	電力量削減	45.2ton-CO2/年	排気ファン&電動機小型化・高効率化。
4	電力量削減	50tonn-CO2/年	コンプレッサの運転/停止余裕時間見直し。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物排出量削減	原単位あたり1%削減。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原材料の節約（設計・加工） ・ 消耗品の寿命延命。 ・ 廃油排出量の削減（リサイクル化） ・ 紙の節約。（両面使用）
2	PRTR低減	原単位あたり5%削減。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗料色替え回数削減。 ・ 吐出量の適正化と回送率低減。
3	排水含有物質管理	排水処理規制値遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・ COD負荷量規制値遵守。 ・ 全窒素負荷量規制値遵守。 ・ 全リン負荷量規制値遵守。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。